

SDGs をテーマとした国際会議の開催状況 【調査回答】

○ シンガポール国内で開催予定の会議一覧(開催日程順)

(1) World Cities Summit 【テーマ:都市課題全般】

①会議名称	World Cities Summit (WCS) (2023 年版の情報はまだ公開されていない)
②主催者	・ 住み良い都市センター Centre for Liveable Cities Singapore, CLC (シンガポール国家開発省の部門) ・ 都市再開発庁 Urban Redevelopment Authority, URA (シンガポール国家開発省の部門の法定機関) 共催
③開催日程、場所 (対面又はオンライン)	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 2022 年 7 月 31 日～8 月 3 日 @ シンガポールのマリーナ ベイ サンズ内のサンズ エクスポ アンド コンベンション センター、対面形式
④テーマ	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 「住みやすく持続可能な都市: より強くなる」 “Liveable and Sustainable Cities: Emerging Stronger” 持続可能な資金調達、スマートシティ、開発と計画、都市のレジリエンス、住みやすい未来都市の 5 つの分野で、都市が現代の混乱からどのように強くなるかに焦点を当てる (詳細: https://www.worldcitiessummit.com.sg/programme/overview)
⑤主な参加者・ スピーカー(特に 国連関係者、自治 体関係者)	(2023 年半は未発表) 【参加対象者】政府、自治体・地方政府、国際機関、大学・研究機関、都市企画企業・業界関係者、シンクタンク 等 ※2022 年版は ●シンガポール国内 (通信情報省次官、北西地区市長、スマート ネーションおよびデジタル ガバメントグループ二等書記官、中央地区市長、北東地区市長、国家開発大臣兼社会サービス統合担当大臣、都市再開発庁チーフプランナー兼副社長、大臣官房大臣、財務・国家開発第二大臣、シンガポール経営大学学長、市長委員会委員長兼南西

	地区市長 等) ●シンガポール国外 (マレーシア セベラン ペライ市議会市長、カンボジア総合住宅局局長、マレーシア イスカンダル地域開発局 (Iskandar Regional Development Authority, IRDA) 長官、インドネシア ヌサンタラ国家資本庁 会長、マレーシア シブ市議会議長、フィリピン 第 5 行政補佐兼バギオ市長秘書官、インドネシア南タンゲラン市長、インドネシア ジャンピ市長、マレーシア ジョホールバル市議会市長、インドスラト市長、インドネシアバトゥ市長、スリランカ スリ・ジャヤワル ダナプラ コッテ市議会 市長、マレーシアクアラルンプール市長、インドネシア 西ジャワ州知事、マレーシアコタキナバル市長、カンボジアプノンペン市副知事、カンボジアシェムリアップ市知事、インドネシア観光・創造経済大臣、福岡市市長、カンボジア バッタンバン州知事、ラオス公共事業運輸大臣、ベトナムホーチミン人民委員会副委員長、ベトナム ビンズン州長、インドネシアバンドン市長 等) 2022 年参加者・スピーカー一覧表: https://www.worldcitiessummit.com.sg/whos-coming
⑥ 会議 HP の URL	https://www.worldcitiessummit.com.sg/
⑦ 会議実績 (開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数: 2022 年版を含む過去 7 回 (初回は 2010 年、隔年イベント。実施しない年に「Mayor's Forum」を実施) 参加者数: 世界の 500 を超える都市から、政府、ビジネス、オピニオン リーダーを含む 4,000 人を超える代表者
⑧ 会議の報告書や成果物	2021 年版会議概要: https://www.worldcitiessummit.com.sg/about-us/past-editions/world-cities-summit-2021 (報告書) https://youtu.be/7xSEiRA2tqc (1 日目報告動画) https://youtu.be/jHm0dZex6vM (2 日目報告動画) 2018 年版会議概要: https://www.worldcitiessummit.com.sg/about-us/past-editions/world-cities-summit-2018 (報告書) https://www.youtube.com/watch?v=Wffu0hl0RSo (報告動画) (「Mayor's Forum の市長フォーラム」を含むすべての年版の過去報告書: https://www.worldcitiessummit.com.sg/about-us/past-editions)
その他	WCS 市長フォーラムは、市長を初めとする市の指導者が差し迫った都市の課題について話し合い、ベストプラクティスを共有するための招待制のグローバルプラットフォーム

	フォーラムです。セッションには、市長によるケーススタディのプレゼンテーションと、国際機関の上級代表者および業界関係者による共有が含まれます。
--	--

(2) Clean Enviro Summit Singapore

①会議名称	Clean Enviro Summit Singapore (2023 年版の情報はまだ公開されていない)
②主催者	シンガポール国家環境庁 (シンガポール持続可能・環境省の傘下である法定機関) National Environment Agency, NEA (a statutory board under the Ministry of Sustainability and Environment)
③開催日程、場所 (対面又はオンライン)	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 2022 年 4 月 17 日～21 日 @ シンガポールのマリーナ ベイ サンズにあるサンズ エクスポ アンド コンベンション センター、対面形式
④テーマ	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 「持続可能で気候変動に強い都市に向けて」 “Towards Sustainable and Climate-Resilient Cities” 次の 5 つの主要分野について深く掘り下げます↓ 資源としての廃棄物、衛生基準、効果的な害虫管理、持続可能なエネルギー、汚染管理 このサミットは、指導者、政府高官、規制当局、政策立案者、業界リーダーのグローバル ネットワーキング プラットフォームとして機能し、詳細な議論を行い、参加者にグローバルなベスト プラクティスを共有する機会を提供します。 グループセッションは、環境問題、特に気候変動によってもたらされる問題に対する実用的でスケーラブルな解決策について議論できるようにすることを目的としています。 環境博覧会の出展者は、最新の環境技術とソリューションも紹介することもできます。
⑤主な参加者・ スピーカー (特に 国連関係者、自治 体関係者)	(2023 年版は未発表) 【参加対象者】政府、自治体・地方政府、国際機関、大学・研究機関、環境企業・ 業界関係者・業者 等 ※2022 年版は ●シンガポール国内 (シンガポール国立大学 シンガポール太陽エネルギー研究所 (Solar Energy

	Research Institute of Singapore, SERIS)の最高経営責任者 CEO、シンガポール持続可能・環境大臣、エネルギー市場庁 政策・企画部長、国立感染症センター 事務局長、国家環境庁 環境衛生研究所長、国家環境庁 廃棄物管理課長、国家環境庁 炭素削減部長、シンガポール環境管理協会 (EMAS) 会長、国家環境庁 環境公衆衛生オペレーション グループ 部長) ●シンガポール国外 (国連アジア太平洋経済社会委員会 重役秘書、国連環境計画 アジア太平洋事務所 地域ディレクター、日本国環境省 地球環境担当副大臣) 2022 年スピーカーの一覧表：https://www.cleanenviros Summit.gov.sg/cesg-2022/speakers
⑥ 会議 HP の URL	https://www.cleanenviros Summit.gov.sg/
⑦ 会議実績 (開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：2022 年版を含む過去 5 回 参加者数：2022 年版は 15,000 人程度 (対面)
⑧ 会議の報告書や成果物	過去年版の報告書： https://www.cleanenviros Summit.gov.sg/resources/publications/brochures
その他	一般登録は可能ですが、会議の一部は招待制のようです。登録については主催者に直接連絡して確認する必要があります。

(3) Singapore International Water Week (SIWW) Spotlight 2023

①会議名称	Singapore International Water Week (SIWW) Spotlight 2023
②主催者	・ シンガポール持続可能環境省 Ministry of Sustainability and Environment, Singapore ・ シンガポール公益事業庁 PUB, Singapore's national water agency 共催
③開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2023 年 6 月 4～6 日 @ パークロイヤル コレクション マリーナ ベイ、シンガポール (対面形式)
④テーマ	「持続可能な水の未来のための緊急の気候行動」をテーマにしたスポットライト 2023 のセッションでは、公益事業の CEO 向けの非公開の円卓会議、業界全体会議、ワークショップ、ネットワーキング イベントが行われ、影響力のある交流を促進し、共同行動のためのパートナーシップを構築します。 2023 年 6 月 4～6 日にシンガポールで開催される SIWW スポットライト 2023 で提示されるテーマには、気候の緩和と適応、およびデジタルウォーターランスフォーメーションが含まれます。
⑤主な参加者・ スピーカー（特に 国連関係者、自治 体関係者）	【参加対象者】 ・ 水道事業体および政府機関の CEO およびシニア リーダー ・ 政府や都市の高官 ・ 水産業の専門家 ・ 国際および国内の水組織のリーダー ・ 金融機関のリーダー
⑥ 会 議 HP の URL	https://www.siww.com.sg/spotlight-2023
⑦会議実績（開催 回数・参加者数等 の開催規模）	開催回数： 過去 10～15 回(年によって会議が異なる種類を実施。下記に説明がある) 参加者数： 10,000～24,00 人程度
⑧会議の報告書 や成果物	SIWW 2018: https://www.siww.com.sg/landing-page/past-events/siww-2018 SIWW スポットライ 2019: https://www.siww.com.sg/landing-page/past-events/spotlight-2019 SIWW オンライン 2020: https://www.siww.com.sg/siww-online SIWW 2021 (スポットライト+オンライン): https://www.siww.com.sg/landing-page/past-events/siww-2021

	SIWW 2022: https://www.siww.com.sg/landing-page/newsletters/save-the-date-for-siww2022-17-to-21-april-2022 , https://www.siww.com.sg/home
その他	「スポットライト」シリーズへの参加は招待制のため、参加表明フォームへの記入が必要です↓ https://form.gov.sg/63636ecbe55196001178d440 定期的な SIWW 版もあり、2 年に 1 回行われているようです。

(4) Singapore International Energy Week (SIEW) 2023

①会議名称	Singapore International Energy Week (SIEW) 2023
②主催者	エネルギー市場庁 (EMA)、シンガポール貿易産業省傘下である法定機関 Energy Market Authority (EMA), a statutory board under the Singapore Ministry of Trade and Industry
③開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2023 年 10 月 23～27 日 (現時点では会場や形式に関する詳細はありませんが、 過去 2022 年版はシンガポールのマリーナベイ サンズにある サンズ エクスポ ア ンド コンベンション センターで開催されました)
④テーマ	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 「レジリエントで持続可能なエネルギーの未来」 “A Resilient and Sustainable Energy Future” 近年、各国が自国の経済を脱炭素化し、環境に優しい波に乗って排出量を削減 するために、より多くのことを行うと傾向にあります。 持続可能なエネルギー源に加 えて、私たちのエネルギーシステムはより柔軟でなければなりません。 進行中のエ ネルギー危機は、エネルギー安全保障の重要性を強調しており、一部の国は脱炭 素イニシアチブよりも優先しています。 このような背景に対して、SIEW 2022 では、より回復力があり、より環境に優しく、より 包括的なエネルギーの未来への移行を加速するためのポリシー、フレームワーク、 およびベスト プラクティスについて議論します。 また、地域がグリーン経済への投資と地域の接続性を拡大する際の機会と課題に についても検討します。
⑤主な参加者・ スピーカー(特に 国連関係者、自治 体関係者)	(2023 年半は未発表) ※2022 年版は 【スピーカー】政府、地方政府、国際機関、大学・研究機関、エネルギー企業・業界 関係者・業者、マスコミ関係者 (Channel News Asia, CNA) 等 ● シンガポール国内 (南洋理工大学エネルギー研究所 Multi Energy Systems and Grids (MESG)のプロ グラムディレクター、シンガポール国立大学 エネルギー研究所 非常勤主任研究 員、シンガポールのエネルギー市場庁 副社長、シンガポール貿易産業大臣、シ ンガポールのエネルギー市場庁 対外関係部長、シンガポール持続可能エネルギ

	ー協会(Sustainable Energy Association of Singapore, SEAS)副会長、シンガポールのエネルギー市場庁 最高経営責任者、労働大臣兼第二通商産業大臣、副首相兼財務大臣) ● シンガポール国外 (国際エネルギー機関(International Energy Agency, IEA)事務局長、国際再生可能エネルギー機関局長、エクソンモービル アジア パシフィック 会長兼専務取締役、マレーシア サラワク州首相、財務・新経済大臣、天然資源・都市開発大臣、およびエネルギー・環境持続可能性大臣、米国国務省エネルギー資源局長、マレーシア エネルギー委員会 最高経営責任者、アジア太平洋エネルギー研究センター(Asia Pacific Energy Research Centre, APERC)所長、カンボジア 鉱山エネルギー省 国務長官、アセアン 事務総長、経済産業大臣政務官、インドネシア エネルギー鉱物資源省 事務総長、ベトナム産業貿易大臣、タイ発電公局副知事、三井住友銀行 再生可能および持続可能なエネルギー、ストラクチャード ファイナンス部門のアジア太平洋部長、株式会社国際協力銀行 理事長 日本政府内閣特別顧問、インドネシア エネルギー鉱物資源大臣、日本エネルギー経済研究所(IEEJ)会長兼最高経営責任者、ラオス エネルギー鉱業省企画協力局長、大阪ガス大阪ガスシンガポール チーフアジア代表取締役会長、日本経済産業大臣) 2022 年スピーカーリストの一覧表:https://www.siew.gov.sg/siew-2022/speakers
⑥ 会議 HP の URL	https://www.siew.gov.sg/
⑦ 会議実績(開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数: 2022 年版を含む過去 15 回 参加者数: 最高 20,000 人程度
⑧ 会議の報告書や成果物	2022 年版(各日): https://www.siew.gov.sg/resources/archives#past-events
その他	—

(5) Asia Infrastructure Forum

①会議名称	Asia Infrastructure Forum (2023 年版の情報はまだ公開されていない)
②主催者	・ 企業庁 (シンガポール貿易産業省傘下である法定機関) Enterprise Singapore (statutory board under the under Singapore Ministry of Trade and Industry) ・ 金融管理局 (シンガポール大臣官房傘下である法定機関) Monetary Authority of Singapore (statutory board under Singapore Prime Minister's Office) 共催
③開催日程、場所 (対面又はオンライン)	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 2022 年 8 月 2～3 日 @ シンガポールのマリーナ ベイ サンズにあるサンズ エクスポ アンド コンベンション センター、対面形式+オンライン要素もあり
④テーマ	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 「持続可能なインフラストラクチャのスケールアップ」 “Scaling Up Sustainable Infrastructure” 2022 年のテーマは、政府の政策と規制の有効化、テクノロジーの採用、持続可能なインフラストラクチャを促進するための資金調達、実行可能なエネルギー移行経路の特定、炭素価格設定とクレジットの活用、実施を可能にする能力の構築などの分野で検討されました。
⑤主な参加者・ スピーカー (特に 国連関係者、自治 体関係者)	(2023 年は未発表) ※2022 年版は 【参加対象者】 政府高官、著名なプライベート投資家およびファンド マネージャー、投資家、開発者、技術革新者、著名なアドバイザー、およびインフラストラクチャ エコシステム企業・業界の関係者 等 2022 年登録した会社: https://www.infrastructureasia.org/Asia-Infrastructure-Forum-2022#who-should-attend ● シンガポール国内 (総理府大臣、第二財務・国家開発大臣、シンガポール国立大学リー・クアンユー 公共政策大学院准教授、陸上交通庁 国立電気自動車センター、技術および産

	業開発グループ長、企業庁 副 CEO) ● シンガポール国外 (カンボジア経済財政省 国務長官、インドネシア 西ジャワ州知事、カンボジア公共事業運輸省 国務長官、アジア開発銀行、マレーシア マラッカ経済計画ユニット マラッカ首席次官補、カンボジア 公共事業運輸省 ロジスティクス総局・国家ロジスティクス評議会の事務局長、ベトナム計画投資省 調達庁 副局長、Vinfas 最高財務責任者、日本国土交通省 インフラストラクチャ国際協力およびエンジニアリング担当ディレクター、SMBC 主な投資(インフラ)アジア地域責任者、国連環境計画経済通商政策ユニット長、鹿島建設株式会社 鹿島技術研究所シンガポール (Kajima Technical Research Institute Singapore, KaTRIS) 副所長、ベトナム ホーチミン市建築計画局 総合企画部長) 2022 年スピーカーリストの一覧表：https://www.infrastructureasia.org/Asia-Infrastructure-Forum-2022#speakers
⑥ 会議 HP の URL	https://www.infrastructureasia.org/Asia-Infrastructure-Forum-2022#overview
⑦ 会議実績(開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：2022 年を含む、過去 3 回(初回は 2019 年) 参加者数：1000 人程度(30 か国以上)
⑧ 会議の報告書や成果物	2022 年版： https://www.youtube.com/watch?v=KibEMn30OjI (報告動画)
その他	—

(6) Singapore International Transport Congress and Exhibition (SITCE)

①会議名称	LTA-UITP Singapore International Transport Congress and Exhibition (SITCE) (2023 年版の情報はまだ公開されていない)
②主催者	・ シンガポール陸上交通庁 (運輸省傘下である法定機関) Singapore Land Transport Authority, LTA (statutory board under Ministry of Transport) ・ 国際公共交通機関協会 International Association of Public Transport ・ MSI Global Pte Ltd (LTA の子会社) 共催
③開催日程、 場所（対面又 はオンライン）	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 2022 年 11 月 2～4 日 @ サンテック シンガポール コンベンション & エキシビション センター、対面形式+ オンライン要素もあり
④テーマ	(2023 年版は未発表) ※過去 2022 年版は 「モビリティの鼓動: 持続可能で回復力のあるシームレスな公共交通機関に向けて」 “Heartbeat of Mobility: Towards a sustainable, resilient and seamless public transport” SITCE 2022 は、アーバン モビリティ プランナー、オペレーター、サービス プロバイダー、イノベーター、新興企業、研究者が団結してアーバン モビリティ ランドスケープの未来を形作るためのソリューションを提供することを目的としています。
⑤主な参加者・ スピーカー (特に国連関係者、自治体関係者)	(2023 年半は未発表) ※2022 年版は 【参加対象者】政府、地方政府、国際機関、大学・研究機関、交通企業・業界関係者等 ● シンガポール国内 (運輸大臣、陸上交通庁 Chief Executive、SMRT Trains SVP Rail Maintenance Group、 陸上交通庁会長、ST Engineering アーバンソリューション社長、SBS トランジット株式会社 バス開発(特級) 副社長、シンガポール公共交通評議会 インサイト&アドバイザリー部門 シニアディレクター、SMRT コーポレーション 最高情報セキュリティ責任者、 陸上交通庁政策企画部長)

	● シンガポール国外 (スペイン バルセロナ大都市圏 モビリティ・交通・持続可能担当ディレクター、ロサンゼルス郡メトロポリタン交通局, LA メトロ 最高執行責任者、知事配達ユニット・ジャカルタ州政府 ポリシーマネージャー、イスラエル運輸交通安全省公共交通計画部長、韓国ソウル市庁 交通企画局長、中国土木建設会社ゼネラルマネージャー、国連人間居住計画 (UN-Habitat) 国連事務次長兼事務局長、JR 東日本 課長と課長補佐、MICHINORI HOLDINGS., INC. 課長、都市と地方自治体連合アジア太平洋 (UCLG ASPAC) 事務総長、北京公共交通公社 (BPTC)) 2022 年スピーカーリストの一覧表: https://www.sitce.org/website/7302/speakers/
⑥会議 HP の URL	https://www.sitce.org/website/7302/home/
⑦ 会 議 実 績 (開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数: 2022 年を含め過去 4 回 参加者数: 1,100 人程度
⑧会議の報告書や成果物	2002 年版報告動画: https://www.youtube.com/watch?time_continue=2&v=5l5g0bPlkW0&feature=emb_logo
その他	—